

9. 四国（地域別調査機関：四国経済連合会）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計動向関連	良くなる やや良くなる	通信会社（管理担当）	・新生活時期を迎え、携帯電話の需要が拡大する。
		スーパー（店長）	・新規競合店の影響が一巡し、今後、売上の回復が見込まれる。
		コンビニ（店長）	・客の様子が変わってきた。以前は単品買いが多く、客の節約感があったが、最近はプラス一品を買うように回復してきた。
		衣料品専門店（経営者）	・昨年秋以降の客の動き、販売量の動きを見ると、底打ち感がある。今後、プラスの方向に行くことを期待している。
		衣料品専門店（副店長）	・本当に必要な時に必要な物を買うという客が多いため、春物が出始める2～3か月先は、今より良くなってくる。
		乗用車販売店（役員）	・新型車種の投入等があり、個人の購買意欲は少しずつ良くなりつつある。企業の3月決算の状況に期待をしたい。
		タクシー運転手	・人事異動の時期で、昼夜を問わず、人の動きは多くなる。四国八十八箇所周りの遍路客の仕事も、3月頃から徐々に増えてくる。
	通信会社（企画）	・特にテレビ業界は地上デジタル移行の影響から、しばらくは好調だと思う。	
	住宅販売会社（従業員）	・フラット35の影響で、展示場来場数が少しは増えている。今後の受注増加に繋がると思う。	
	変わらない	商店街（代表者）	・政局が不安定ななか、購買意欲を刺激する策がない。
		商店街（代表者）	・生産労働人口の減少と高齢化の急速な伸展で、内需、ひいては個人消費の低迷は長く続くであろう。消費税増税論議があり、消費の前倒しの動きが見られるかもしれないが、その後は低迷が続くだろう。
		商店街（代表者）	・現在の経済状況では、良くなる点が見当たらない。
		百貨店（営業担当）	・冬季クリアランスセールなどを見る限り、防寒商品の動きが前年に比べて良く、単価も上昇している。宝飾品を含む高額品の動きは相変わらず鈍いが、衣料品・袋物・革製品は単価上昇がみられた。
		百貨店（営業担当）	・開店2周年のため集客が良くなると思うが、不安定な政治情勢のため、先行きが見えない。
		百貨店（販売促進担当）	・今の冬物の動きを見る限り、春物の売上も期待できない。
		百貨店（売場担当）	・3月末で家電エコポイント制度が終了し、気候的にも寒さが和らぐと、購買意欲を刺激する材料が乏しくなる。
		スーパー（店長）	・寒さのため、冬物の動きが良くなっている。
		スーパー（店長）	・今年は冷え込みが厳しいため、食品販売に良い影響があった。子ども手当等の支給は、消費の拡大にはなかなか結び付いてこないと思う。
		スーパー（企画担当）	・年度替わりにより、学費などの出費がかさむため、一般消費は厳しくなる。
		コンビニ（総務）	・景気が回復するような消費喚起策は見当たらない。
		衣料品専門店（経営者）	・良くなる要素が見当たらない。
		衣料品専門店（総務担当）	・今年は、例年よりセール待ちの客が多く、定価販売が難しくなるほど低価格志向が強い。
		家電量販店（店員）	・新生活準備のため、一時的に販売量は増えそうである。しかし、その後は収束するであろう。
		家電量販店（営業担当）	・新入学・新社会人関連の商品販売に大きな期待は持てない。客の財布のひもは固くなってきている。
		乗用車販売店（営業担当）	・主力車種のモデルチェンジがあったが、その効果が見られない。また、来店客そのものが少ない。
		一般レストラン（経営者）	・これだけ気温が低いと、外に出るのが億劫になるため、外食支出に悪影響が出る。
		都市型ホテル（経営者）	・先行きの予約状況は良くも悪くもない。消費については、若干戻りつつあるが弱含み感がある。
タクシー運転手		・年収が減少したという客が多い。なかには、80～90万の下落という人もおり、自分が使える小遣いが少ないという声もある。	
通信会社（支店長）		・現在の景気状況を見る限り、販売量の増加は望めない。	
ゴルフ場（従業員）	・予約状況は、例年と比べさほど変わらない。		
美容室（経営者）	・状況はさほど変わらないと思う。		
設計事務所（所長）	・中心部のテナントに空きが多く、売りに出ているビルも結構多くある。		
やや悪くなる	商店街（代表者）	・昨年は大河ドラマ放映効果で、観光客が多かったが、今年は、急激に減った。3～4月は、観光関連の様々なイベントがあるが、大河ドラマ効果ほどではないため、今後、観光業界は厳しくなる。	

	一般小売店〔生花〕 (経営者)	・繁華街へ届ける御祝用贈答商品の販売数と単価が減少している。また、開店する店が少なくなる一方で、閉店や送別用に使われる商品の注文が入るようになった。
	スーパー(企画・営業担当)	・現在の消費は気候要因が強いいため、春以降、その反動がくることが懸念される。
	衣料品専門店(経営者)	・政局が不安定である。また、原油や穀物の価格が上昇しているため、買い控えが予想される。
	家電量販店(店長)	・新入学関連の需要や、エコポイント終了間際の駆け込み需要があると思うが、例年と比べると低調であろう。
	観光型旅館(経営者)	・新幹線が鹿児島へ開通したり、東北新幹線も青森まで開通するなど、日本の幹線は非常に強化された感がある。しかし、枝葉となる四国には、国民の目が向かないのではないかと懸念がある。また、四国内でも、観光都市としての集客力のある街作りが出来ていないところもある。それなりの経営努力はしているが、厳しい経営状態が続いている。
	旅行代理店(支店長)	・景気の動向に大きな変化が見られないため、国内旅行は引き続き低調に推移するであろう。ただ、九州新幹線全線開通による旅行需要がどこまで高まるか期待感はある。海外旅行は、円高に陰りが出てきていることと、2月から一部航空会社による燃油サーチャージの値上げがあることから、需要は減少するであろう。
	観光名所(職員)	・天候が悪いことから、観光客の入場者数は減少している。そのうえ、社会情勢も不安定である。
	競艇場(職員)	・正月レースは前年比減となり、今後、ビッグレースの開催もないことから、2~3か月先は減少傾向が続く。
	美容室(経営者)	・消費税の増税がまことしやかにさやかれているため、節約志向が高まり、消費活動がさらに抑えられる。
	設計事務所(職員)	・新年度から仕事量がほとんどなくなる見込みである。
悪くなる	一般小売店〔乾物〕 (店員)	・景気が良くなる要素がない。そのうえ、消費税が上昇しそうなので心配している。
	一般小売店〔酒〕(販売担当)	・政治が不安定だと、市民の生活にも不安が残る。
	乗用車販売店(従業員)	・エコカー購入補助金制度により、需要の先取りをしたため、今後1年間は相当の落ち込みがある。
	住関連専門店(経営者)	・販売量の低迷が続いている。
企業動向関連	良くなる やや良くなる	-
	パルプ・紙・紙加工品製造業(経営者)	・ギフト関連の引き合いが増加傾向にある。
	電気機械器具製造業(経営者)	・大手メーカーが、太陽電池の材料の発注を一気にかけてきている。また、LED関連の受注は非常に好調である。化学的、素材的なものが活況である。
	通信業(部長)	・年度末を控え、業績余裕のある企業は、積極的な動きを見せている。しかし、受注競争は依然厳しく、量的拡大が業績に繋がりにくい状況であり楽観はできない。
	通信業(営業担当)	・友人や法人マネージャーとの対話のなかで、これからの景気について明るい話題を聞く機会が増えてきている。円高もピークを迎えた様子のようにあり、株価にも明るさが見えていることから、今後、景気は良くなる。
	不動産業(経営者)	・ここ数か月、県外、とりわけ、都市部からのオファーや問い合わせが増えてきている。都市部は動きが出てきており、その余波が、地方にも届いている。
変わらない	鉄鋼業(総務部長)	・長引く円高の影響でマイナス要因はあるが、スポット的な受注も出てきている。
	一般機械器具製造業(経理担当)	・国内向けは増産に向かって体制をとりつつあるが、海外はまだその兆しがない。
	電気機械器具製造業(経営者)	・欧米市場の需要低迷が依然として続いている。
	建設業(経営者)	・今後も公共事業が縮小すると、業況はますます厳しくなる。
	広告代理店(経営者)	・新聞広告などメディア広告の前年比売上は下げ止まり感がある。一方、地元の得意先には広告費を削減しているところが依然多い。
	公認会計士	・関与先の社長との話によると、設備投資に消極的な意見がまだ多い。また、土地の価格が下落していることから、銀行の担保評価が厳しくなり、信用収縮を生んでいる。
やや悪くなる	食料品製造業(従業員)	・販売・受注価格ともにご下がるなかで、原材料価格の上昇がコストアップとなり、状況がますます厳しくなる。
	繊維工業(経営者)	・綿糸価格などの原材料価格が高騰しており、厳しい方向に向かうと思う。

		建設業（総務担当）	・来期の受注量はある程度確保できる目処が立ったが、ほとんどの工事は利益ゼロ、もしくは赤字が見込まれ、収益的には非常に厳しい。
		輸送業（経営者）	・政府の政策運営に嫌気が差し、今後は、海外に国民の目が向きそうである。
		広告代理店（経営者）	・受注量が変わらなくとも、原材料価格や固定費の上昇などから、利益が下がる傾向にある。
	悪くなる	輸送業（統括）	・不況の最中、価格競争により客が安い方に行く。
		輸送業（支店長）	・例年2～3月は駆け込み需要があるものの、荷主の生産調整が続くという情報が入っている。
雇用 関連	良くなる	-	-
	やや良くなる	人材派遣会社（営業部長）	・中途求人数の持ち直しや、雇用対策予算等による就職支援の需要の高まりに期待を寄せている。
		職業安定所（職員）	・月間有効求人倍率が、先月より0.08ポイント上回った。
		学校〔大学〕（就職担当）	・未内定者向けの県からの支援があることや、求人そのものも増えていることから、今後は内定が増えていく。
	変わらない	人材派遣会社（営業）	・企業の決算前となるこの時期に、薄利多売な営業戦略を持つ企業と、予算範囲内で来年度に向けた堅実な営業戦略を持つ企業とで二極化される。また、景気の影響かは定かではないが、労働者の精神疾患がここ最近目立つようになった。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	・ガソリンや小麦などの値上がり圧力があるので楽観視できないが、景気は落ちるところまで落ちているので、今後は現状維持で推移する。エコカー減税の今年3月の終了に向け、駆け込み需要があるかもしれない。ただし、製造業からは、相変わらず明るい話題が聞こえてこない。
		職業安定所（職員）	・景気上昇傾向が見られるが、輸出産業等を筆頭に、将来に対する不透明さを訴えており、自動車産業からは経済対策後の状況の悪化が報告されている。
	やや悪くなる	人材派遣会社（営業担当）	・労働者派遣法改正の影響から、企業から求人依頼が減る可能性がある。
		求人情報誌製作会社（編集者）	・中小企業を中心に、人材採用には慎重な姿勢が続いている。
		民間職業紹介機関（所長）	・現状は、既存の従業員の人余り感に対し、どのように対処するかで悩んでいる企業が多い。今年に入っても求人数の伸びはほとんど見受けられない。
悪くなる	-	-	